

## 令和5年度2月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和5年度2月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和6年2月14日（水） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 ・第9回生涯学習笑顔のつどいについて
- 【 出席委員 】 井浦議長、角森委員、村山委員、橋爪委員、砥上委員  
倉掛委員、丸井委員、山本委員（以上委員8名）
- 【 欠席委員 】 石川委員
- 【 事務局 】 教育部長、生涯学習推進課長、村上参事補佐、平川、田原
- 【 傍聴者数 】 0名

**【配布資料】**

- ・ レジюме
- ・ 笑顔のつどい提案書

## 【次第】

1. 開会あいさつ
2. 協議事項  
第9回生涯学習笑顔のつどいについて
3. その他
  - (1) 各委員から
    - ・令和5年度糟屋地区社会教育委員研修会の報告について
  - (2) 事務局から
    - ・社会教育委員活動報告書について
    - ・令和6年度福岡ブロック社会教育委員研修会  
日時：令和6年10月18日（金）予定
    - ・パブリックコメント中(1月26日～2月25日)  
第3次古賀市生涯学習基本計画  
リーパスプラザこがリニューアル基本計画
  - (3) 次回開催日程
4. おわりの言葉

## 【会議内容】

### 1. 開会あいさつ

### 2. 協議事項

#### 第9回生涯学習笑顔のつどいについて

#### 提案書について各委員の説明

##### (角森委員)

今までの笑顔のつどいはフロアとなかなか話すことができなかった。参加者が話せる場があるといいと思う。

##### (橋爪委員)

参加者がインプットするだけでなく、アウトプットすることで自分自身の考えが深まる。話していく上で、大事になるのは、テーマとファシリテーター。話すテーマをしっかりと設定する。倉掛委員のトークフォークダンスも非常にいいと思った。

##### (倉掛委員)

あまり準備がならず、生の会話がたくさん聞ける。参加者も面白かったと言って帰ってもらえると思う。

##### (井浦議長)

例えば、普通の会話などいろいろテーマが変わっていく中で、放課後の過ごし方につなげて、話せるような場になればいいと思う。通常は、学校の授業の一環でやっているのだから、子どもたちの参加は確保できている。そこに保護者や地域の人を呼び、子どもの数だけ人数を集めなければならない。そうすると、それを仕切るファシリテーターで専門の人、あるいは経験のある人を呼ぶ必要がある。

##### (倉掛委員)

トークフォークダンスは聞く相手のことに耳を傾けるという良さがある。

##### (井浦議長)

福津市の社会教育委員の木本さんという女性の方もトークフォークダンスに関わっていらっしゃるのだから、依頼することもできると思う。子どもは、学校の先生以外の多くの大人と交流ができる。大人は、自分の子以外の子どもと会話ができる。両方にメリットがある。

(砥上委員)

研修で実際にトークフォークダンスに参加したが、やはりいろいろな発見があった。自分の知らない情報を知ることができ、初対面の人と話すこと自体が面白い。そのときも福津市の方が来ていらっしやった。

(倉掛委員)

私自身が参加したいと思い、提案させてもらった。

(砥上委員)

私からの提案は、「次世代リーダー」。去年、少年の船に発表してもらったが、発表しきれていなかったと思う。実際に参加した子どもたちが発表する場があると良かったと思う。

(井浦議長)

私と村山委員の案が似ているところがある。せつかく市長、教育長、教育委員と懇談会をしたので、子どもたちの声を聞く場があってもいいのではないかと思う。その中で、公民館の使い方を聞いてみたらどうか。

(村山委員)

子どもの生の声を聞くことは大切。作文だと短くて、内容が分かりやすいと思う。歴史関係の勉強などをしている子がいたら話を聞いてみたいと思った。

(井浦議長)

トークフォークダンスの子どもたちをどうやって確保するか。連れてきてもらう負担もある。大人を集めるためには、区長に声をかけて来ていただく。

(倉掛委員)

子ども食堂など公民館の活動でも呼び掛けたら子どもたちは結構集まる。

(橋爪委員)

公民館での活動と笑顔のつどいの違いは場所の行きやすさ。地元の公民館の活動には来るが、リーパスでやるとなると保護者の送迎も必要になってくる。そうなるとなかなか集まらない。例えば、アトラクションでブラスバンドに出てもらって、そのまま見てもらうといいのではないか。

(村山委員)

前回のつどいで、広く市民に募って集客するのは難しいと思った。発表団体の関係者などタ

ーゲットを絞ってたくさんの人を呼ぶのもいいのではないか。

(山本委員)

社会福祉協議会でイベントをするときも集客は難しい。口コミでお願いした人から集客している。

(井浦議長)

集客で確実なのは動員。でもそれは、うちが求めていることではない。最終的には、「つどいはいいよ」と口コミで広まるのがいい。トークフォークダンスをまだ知らない人が多い。関心を持ってもらうための説明も必要。

(倉掛委員)

皆さんが言われているように、話を聞いてインプットした後、アウトプットする場があるといい。

(村山委員)

発表とトークフォークダンスを組み合わせることはできないか。トークフォークダンスだけだと楽しいだけで終わる。笑顔のつどいの今まで追求してきたテーマとしては弱いと思う。

(砥上委員)

それに関連する発表があって、トークフォークダンスに移行するのもいいと思った。

(橋爪委員)

同じテーマでもメンバーを変えながら話すと他の人の意見を聞いて考えが深まる。

(井浦議長)

時間としてはだいたい 10 時から 12 時までの 2 時間で前段を縮小して 10 分。その後 2、30 分問題提起のような発表をして、残りをグループ、分科会に分かれて大人も子供も交流できるようなことも想定できる。その中で角森委員が言ってあったような、いじめや自殺のことを子どもたちに聞いてみることもできると思う。次の 3 月の会議でテーマや方向性を決めていきたいと思う。子どもたちを連れてくることは学校としては可能か。

(橋爪委員)

学校だと土日の引率は難しい。学校よりも社会教育団体のチームのイベントとして組み込んだほうがフットワークは軽い。

### 3. その他

#### (1)各委員から

- ・令和5年度糟屋地区社会教育委員研修会の報告について

#### (村山委員)

1つ目は、新宮町の町長から相島のお話があった。朝鮮通信使のことや、真珠の養殖の話が印象的だった。2つ目のお話は「子どもから大人まで一緒に育つ場所づくり」というテーマで活動の発表だった。私も新宮の小学校で教員をしていたので、懐かしく思いながら聞いていた。

#### (砥上委員)

町長から相島の歴史や産業についてお話があった。古賀だったらどんな話をするかなと思ったときに、船原古墳や古賀の歴史の話ができるのではないかと思った。子育ての話はこんなにいろんな活動をしているのはすごいなと思った。親を育てることの重要性という言葉があったが、まさにそうだなと思う。こういった団体が古賀にもあるのか、古賀には子育て世代の親をどうやってサポートしているのかをもっと知りたいと思った。新宮の活動を見ながら、私自身が古賀市の活動について学ばないといけないと思った。

#### (3)次回開催日程

3月21日(木)18:30～ 会場:103

#### (角森委員)

国家試験があったが、学生たちが理屈ではなく、丸覚えで理解をするような勉強しかしていないので、問題の出し方が変わると分からなくなる。社会教育は親の教育が重要だと研修会の話であったが、親も子どもにどう接するかノウハウがないとできない。砥上委員がおっしゃったように、生徒だけを見ておけばいいわけではない。親とのトラブルもあるということだったので、ぜひまた社会教育委員としても考えていく必要があると思う。今日はお疲れ様でした。ありがとうございました。